シャーシの設置

- ラックまたはキャビネットの設置 （1 ページ）
- 新しいスイッチの検査 （2 ページ）
- 下部支持レールの取り付け （4 ページ）
- ラックまたはキャビネットへのシャーシの設置 （6 ページ）
- シャーシのアース接続 （12 ページ）
- スイッチの起動 （13 ページ）

ラックまたはキャビネットの設置

スイッチを設置する前に、ラックおよびキャビネットの要件に記載されている要件を満たす、標準的な 4 支柱の 19 インチ（48.3 cm）EIA データ センター ラック（またはそのようなラックを備えたキャビネット）を設置する必要があります。

警告 **ステートメント 1048**：ラックの安定性

ラックの安定装置を取り付けるか、ラックを床にボルトで固定してから、設置または保守を行う必要があります。ラックを安定させないと、身体に傷害を負う可能性があります。

警告 **ステートメント 1018**：電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

ステップ 1 床にラックをボルトで固定してからシャーシを載せます。

ステップ 2 接合された構造を持つラックの場合は、アースに接続します。この処置により、スイッチおよびそのコンポーネントと、静電放電（ESD）リスト ストラップを簡単にアースできます。この操作により、設置時に接地されていないコンポーネントを扱う際でも、放電を防止できます。

ステップ 3 ラックにある電源にアクセスする必要がある場合は、次のいずれかを含めます。

- AC 電源の場合は、スイッチの電力仕様を満たす AC 回路を含めます（スイッチ モジュールの所要電力を参照）。この回路には、地域および国の要件を満たし、電源モジュール ユニットで使用する電源ケーブルの仕様を満たすレセプタクルを含める必要があります。
- DC 電源の場合は、スイッチの電力仕様を満たす DC 回路を含めます（スイッチ モジュールの所要電力を参照）。この回路には、電源ケーブルを電源モジュールに安全に接続できるよう、回路ブレーカーを含める必要があります。

新しいスイッチの検査

新しいシャーシを設置する前に開梱して点検し、注文したすべての品目があることを確認します。出荷中にスイッチが破損していないことを確認します。

注意 シャーシまたはそのコンポーネントを取り扱うときは、ESD の損傷を防ぐために、ESD プロトコルに従う必要があります。この手順には、静電気防止用リストストラップを着用してアースに接続する作業が含まれますが、これに限定されません。

ヒント スイッチを取り出したあと、梱包用の箱は廃棄しないでください。梱包用の箱は平らにして、システム用のパレットとともに保管してください。後日、デバイスを移動または輸送する場合に、この箱が必要になります。

ステップ 1 カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を比較し、注文した品目を受け取っていることを確認します。出荷には、次のボックスが含まれています。

- 次のコンポーネントが取り付けられたシステム シャーシ
  - 次のタイプの 1 つまたは 2 つのスーパーバイザ モジュール（同じタイプであること）：
    - スーパーバイザ A（N9K-SUP-A）
    - スーパーバイザ A+（N9K-SUP-A+）
    - スーパーバイザ B（N9K-SUP-B）（-R ライン カードおよびファブリック モジュールに必要）
    - スーパーバイザ B+（N9K-SUP-B+）（-R、-R2 ライン カードおよび -R、-R2 ファブリック モジュールに必要）
  - システム コントローラ（2）（N9K-SC-A）
  - 第 1 章の「概要」で説明しているライン カード（1 ～ 16 個のライン カード）

- ファブリックモジュール: 数量とタイプについては、第1章の概要を参照してください。スイッチには、取り付けられているライン カードをサポートするファブリック モジュールのタイプが1つだけ必要です。

次に示すように、ファブリック モジュールは特定のスロットにを取り付ける必要があります（他のスロットに取り付けると、モジュールの不一致が発生する可能性があります）。

- 3 つのモジュールを使用する場合は、FM 2、FM 4、FM 6 のスロットに取り付ける必要があります。
- 4 つのモジュールを使用する場合は、FM 2、FM 3、FM 4、FM 6 のスロットに取り付ける必要があります。
- 5 つのモジュールを使用する場合は、FM 2、FM 3、FM 4、FM 5、FM 6 のスロットに取り付ける必要があります。
- 6 つのモジュールを使用する場合は、FM1、FM 2、FM 3、FM 4、FM 5、FM 6 のスロットに取り付ける必要があります。
- ファン トレイ（3）
- 電源モジュール（1 ～ 10）
  - 3 kW AC 電源モジュール（N9K-PAC-3000W-B）
  - 3 kW ユニバーサル AC/DC 電源モジュール（N9K-PUV-3000W-B）
  - 3.15 kW デュアル入力汎用 AC/DC 電源モジュール（N9K-PUV2-3000W-B）
  - 3 kW DC 電源モジュール（N9K-PDC-3000W-B）
- ラック マウント キット
  - Cisco Nexus 9516（N9K-C9500-RMK）シャーシ用ラック マウント キット
    - 下部支持レール（2）
    - M6 取り付けネジ（20）
    - 10-32 取り付けネジ（20）
    - 12-24 取り付けネジ（20）
- スイッチ アクセサリ キット（N9K-ACC-KIT）

ステップ 2 それぞれの箱の内容に損傷がないことを確認します。

ステップ 3 不一致または損傷がある場合は、次の情報をカスタマー サービス担当者に電子メールで送信します。

- 発送元の請求書番号、梱包明細を参照してください。
- 欠落または破損している装置のモデル番号およびシリアル番号
- 問題の説明と、その問題がインストールにどのように影響するかを示します。

- 外梱包、内梱包および製品の損傷の画像

下部支持レールの取り付け

下部支持レールは、ラックまたはキャビネットのスイッチシャーシの重量を支えます。ラックを安定させるためには、ラック ユニット（RU）の最下部にこのレールを取り付ける必要があります。

警告 **ステートメント 1006**：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

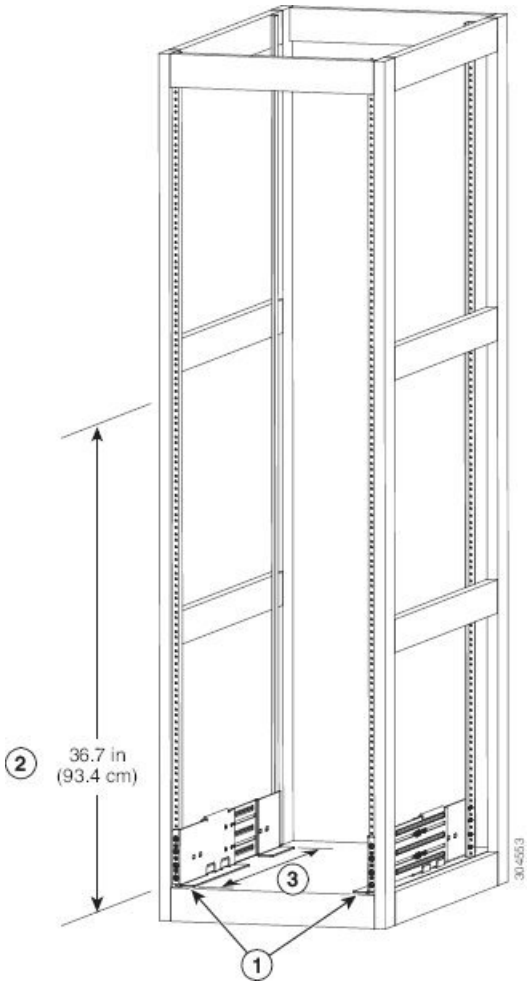
始める前に

シャーシに下部支持レールを取り付ける前に、次を実行する必要があります。

- 4 支柱ラックまたはキャビネットがコンクリート床に設置され固定されていることを確認します。「ラックまたはキャビネットの設置」を参照してくささい。。
- 他のデバイスがラックまたはキャビネットに格納されている場合は、スイッチを設置する場所よりも下に配置されていることを確認します。また、同じラック内の軽いデバイスは、このスイッチを設置する場所よりも上にあることを確認します。
- 下部支持レール キットがスイッチのアクセサリ キットに入っていることを確認します。「新しいスイッチの検査」を参照してください。

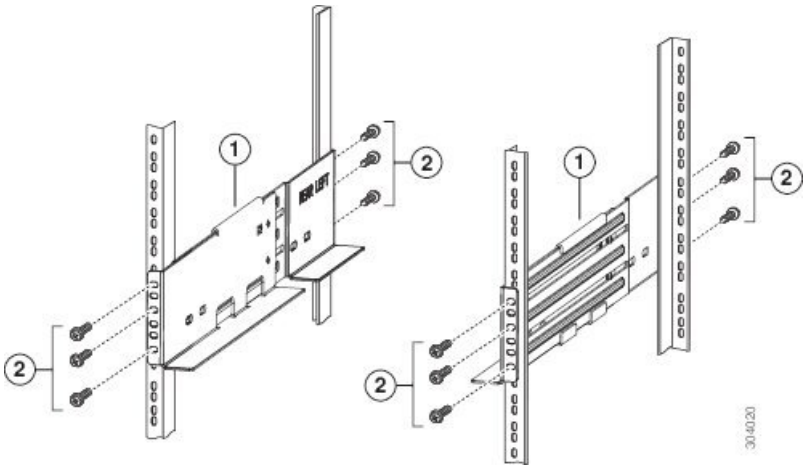
ステップ 1 調整可能な 2 本の下部支持レールのいずれかをラックまたはキャビネットの可能な限り最も下の RU に配置します。前後の縦方向取り付けレールの外側エッジから出るように、各レールの長さを調整します。シャーシを設置するために、レールの上部に少なくとも 21 RU（36.7 インチ（93.4 cm））の空きスペースがあることを確認してください（次の図を参照）。

取り付けブラケット間のスペースが 24 ～ 32 インチ（61.0 ～ 81.3 cm）になるように、レールを広げることができます。



1	ラックの一番下の RU に 2 本の下部支持レールを配置します。	3	前後の垂直レール間の距離は、61.0 ～ 81.3 cm（24 ～ 32 インチ）にする必要があります。
2	各シャーシに対して少なくとも 21 RU（36.7 インチ（93.4 cm））を確保します。		

ステップ 2 レールの各端用の 3 本の M6 X 19 mm または 12-24 X 3/4 インチのネジに、プラス トルク ドライバを使用してレールの下部支持レールをラックまたはキャビネットに接続し（次の図に示すように、レールに対して合計 6 本のネジを使用）、40 インチポンド（4.5 Nm）のトルクまで各ネジを締めます。



1	調整可能な下部支持レール（2）	2	M6 x 19 mm（または 12-24 x 3/4 インチ）プラスネジ（レールごとに少なくとも 6 個）

（注）　各下部支持レールの両端に少なくとも 3 本のネジを使用します。

ステップ 3　ラックにもう 1 本の下部支持レールを取り付けるために、ステップ 1 および 2 を繰り返して行ってください。

（注）　2 本の下部支持レールが同じ高さであることを確認します。高さが異なる場合は、高いほうのレールを低いほうの高さに合わせます。

次のタスク

下部支持レールを最も低い RU に取り付け、水平になっていれば、これで、ラックまたはキャビネットにシャーシを取り付けることができます。

ラックまたはキャビネットへのシャーシの設置

シャーシをラックに移動するには、シャーシをリフトにスライドさせる必要があります。ラック上の場所の前にシャーシを配置するには、リフトを使用します。シャーシをリフトからラックにスライドさせます。次に、シャーシをラックにボルトで固定します。電源モジュール、ファン トレイ、およびファブリック モジュールを取り外すと、シャーシを移動しやすくなります。モジュールは、静電放電（ESD）による損傷の可能性を最小限に抑えるために封印されています。シャーシを簡単に移動できるように、シャーシからモジュールを取り外してください。

始める前に

- ラックまたはキャビネットが完全に取り付けてあること（「ラックまたはキャビネットの設置」を参照）

警告 **ステートメント 1048**：ラックの安定性

安定性に注意してください。ラックの安定装置をかけるか、ラックを床にボルトで固定してから、保守のために装置を取り外す必要があります。ラックを安定させないと、転倒することがあります。

- 下部支持レールがラック内の最も低い RU に取り付けられていること。また、シャーシを取り付けるためのレールの上に 21 RU（36.7 インチ（93.4 cm））のスペースがあること。
- シャーシを設置する場所でデータセンターのアースを利用できること。
- ラックに他のデバイスが取り付けられている場合、より重いデバイスが、シャーシを取り付けようとしている場所よりも下に取り付けられていること。
- シャーシ梱包内容を開梱し、部品が揃っていて損傷がないか調べてあること（「新しいスイッチの検査」を参照）
- 次の工具と部品があること。
  - シャーシ、およびそれに取り付けられたモジュール、ファン トレイ、および電源モジュールの重量を持ち上げることが可能なリフト。フル装備の場合、スイッチの重量は最大 442 ポンド（200 kg）になります。モジュールが取り付けられた状態（または保護されたモジュールを取り外した状態）のシャーシの重量を判断するには、「シャーシ、モジュール、ファン トレイ、および電源モジュールの重量」を参照してください。

注意 重さが 120 ポンド（55 kg）を超えるものを持ち上げる場合は、リフトを使用してください。

  - No.1 プラス トルク ドライバ
  - 下部支持レール キットの 8 本の 12-24 X 3/4 インチまたは M6 X 19 mm プラス ネジ

（注） 最大で 568 ポンド（258 kg）になるシャーシをリフトとラックの間で移動するには、最低 3 人の人員が必要です。

警告 **ステートメント 1006**：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

警告 **ステートメント 1074**：地域および国の電気規則への適合

機器の取り付けは各地域および各国の電気規格に適合する必要があります。

ステップ 1 シャーシを移動するときには、できる限り軽くしておきます。以下のモジュールは取り外し、そのコネクターが損傷しないような場所に置いておくこと。

- 電源装置：それぞれの電源装置は、イジェクト レバーを押し込みながら、前面のハンドルを使って取り外します。
- ファン トレイ：4 本の非脱落型ネジを緩めて、ファン トレイの 2 本のハンドルを使ってモジュールを取り外します。
- ファブリック モジュール：それぞれのファブリック モジュールは、前面のイジェクト ボタンを両方とも押し、ボタンのレバーをモジュールから離れる方向に回し、レバーを使って取り外します。

ステップ 2 シャーシをリフトに載せる手順は次のとおりです。

a) シャーシを載せた輸送用パレットの横にリフトを配置します。
b) シャーシの最下部（またはシャーシ最下部の下 1/4 インチ（0.635 cm）以内）の高さにリフトを上げます。
c) シャーシをリフトに完全に載せてシャーシ側面がリフトの垂直レールに触れるか近づくようにするには、最低 4 人が必要となります。シャーシの前面および背面に障害物がなく、シャーシをラックに簡単に押し出せることを確認してください。

警告 **ステートメント 1032**：シャーシの持ち上げ

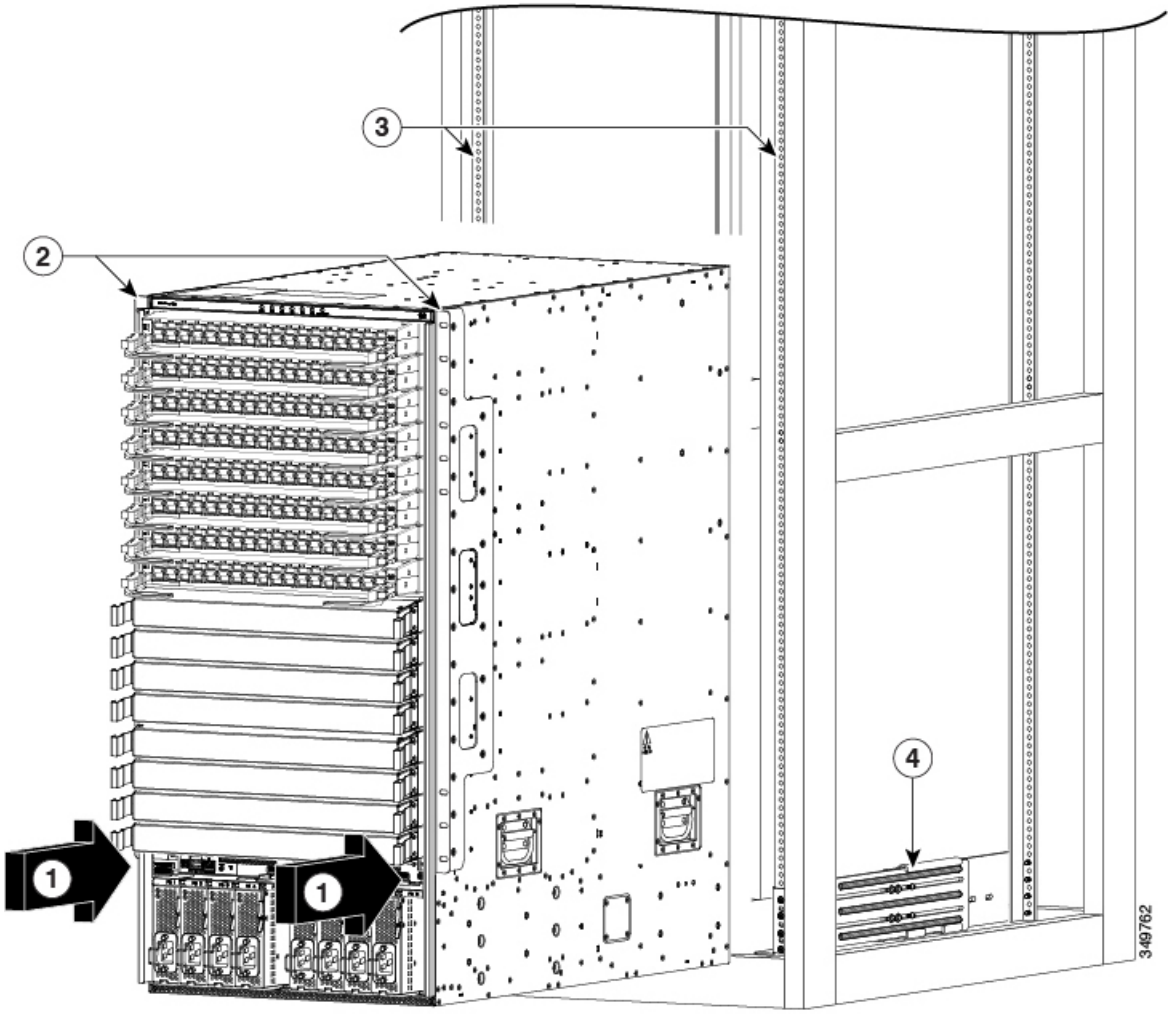
怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

ステップ 3 リフトを使用して移動し、4支柱ラックまたはキャビネットの前面にシャーシを合せます。下部支持レールの高さ、またはブラケットの上1/4インチ（0.6 cm）以内の高さになるまで、シャーシの下部を持ち上げます。

ステップ 4 シャーシの背面側（空き電源 スロットの側）を、ラックまたはキャビネットに取り付けられるように配置します、必要に応じて、シャーシの両側にある 2 個のハンドルを使用してリフト上でシャーシを移動できます。

ステップ 5 2人で、シャーシをラックまたはキャビネットの途中まで押し込みます。もう1人が、下部支持ブラケットのエッジにシャーシが引っかからように確認しながら、下部支持レールまでシャーシを誘導します。

シャーシ前面の下部だけを押してください。シャーシを移動するときは、モジュールやモジュール ハンドルを押さないでください。



1	シャーシ前面の下半分を押します（モジュールまたはモジュールハンドルを押したり持ち上げたりしないでください）。	3	ラック垂直取り付けレール
2	シャーシ取り付けブラケット	4	下部支持レール

ステップ 6 リフトが下部支持レールよりも高く上がっている場合は、ブラケットと同じ高さ（またはレールの下 1/4 インチ（0.6 cm）以内）までリフトをゆっくりと下げます。

この操作により、レールに対してシャーシが水平に保たれ、シャーシが下部支持レールの内側のエッジに引っかかるのを防ぐことができます。

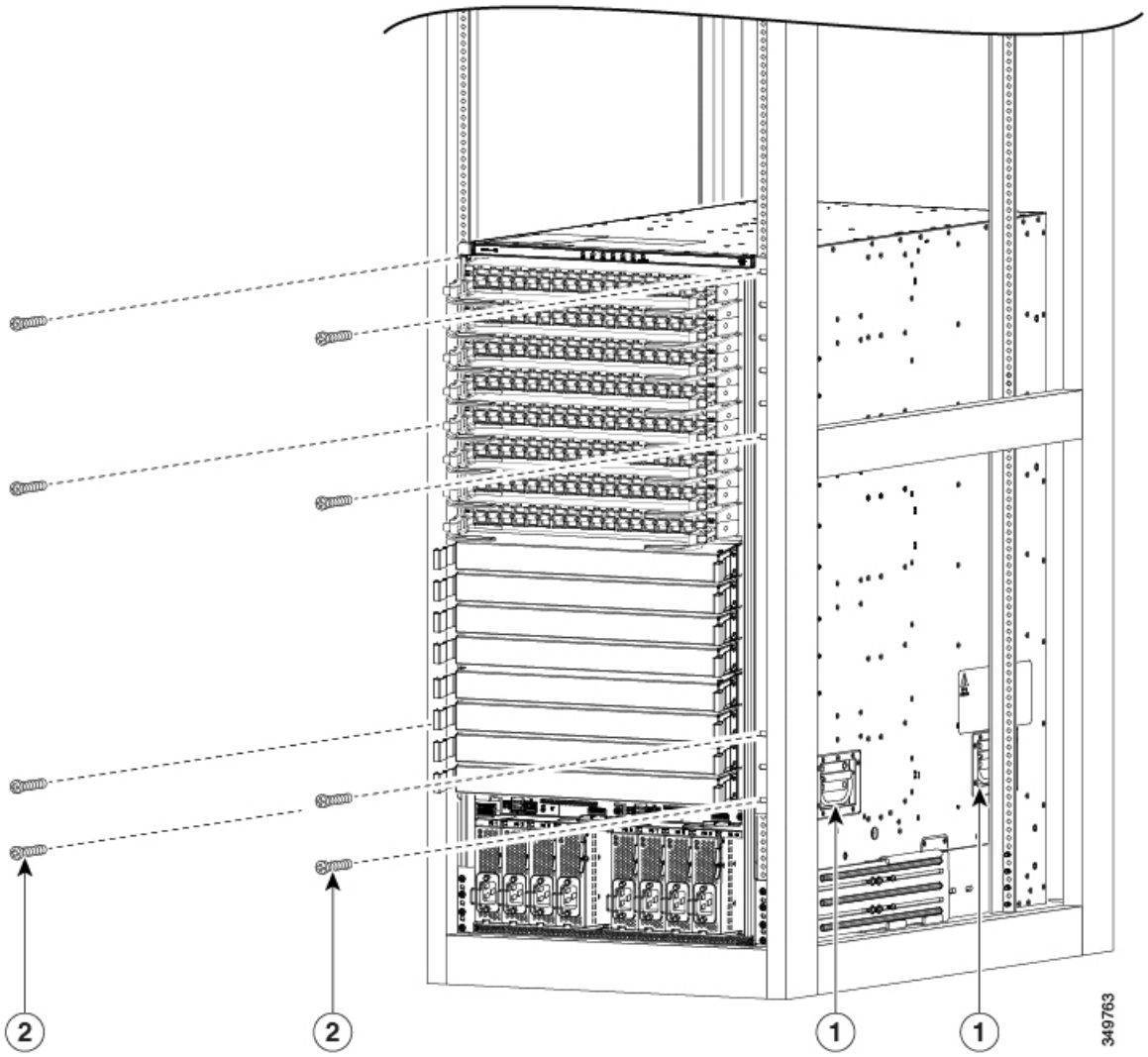
ステップ 7 2 人で、シャーシをラックまたはキャビネットの奥まで押し込みます。

2 つの垂直取り付けブラケットがラックまたはキャビネットの垂直レールに接触したらシャーシは完全に押し込まれています。

ステップ 8 シャーシの取り付けブラケットとラック上の垂直取り付けレールの位置を合わせ、シャーシをラックに取り付けます。

シャーシ取り付けブラケット内のネジ穴の位置を、ラックまたはキャビネット上の垂直取り付けレールのネジ穴に合わせます。プラスドライバを使用し、4 本の M6 X 19 mm または 12-24 X 3/4 インチのネジで 2 個のシャーシ取り付けブラケットをそれぞれ固定します（2 個の取り付けブラケットで合計 8 本のネジを使用）。

ヒント 下部支持レール上でシャーシの位置を調整するには、シャーシのハンドルを使用します。



1	シャーシの位置を調整するハンドル	2	各サイドブラケットを前面取り付けレールに取り付ける際に使用する 4 本の M6 X 19 mm または 10-24 x 3/4 インチ プラス ネジ（合計 8 本のネジを使用）

ステップ 9 ファブリック モジュールを再度取り付ける場合は、次を参照してください。ファブリック モジュールの取り付け

ステップ 10 ファン トレイを再度取り付ける場合は、次を参照してください。 t_n95xx_install_fan_tray.xml

次のタスク

シャーシをラックに固定すると、スイッチをアース接続できます（シャーシのアース接続（12 ページ）を参照）。

シャーシのアース接続

スイッチとラックが金属間接続されたアースされたラックにスイッチを適切に取り付けると、スイッチ シャーシは自動的にアースされます。

（注） 電導経路を必ず本製品のシャーシと製品を搭載するラックまたは筐体の金属面との間に設置するか、またはアース導体に接続するようにしてください。ネジ山を形成するタイプの取り付けネジを使用して塗料または非導電コートを除去し、金属間接点を作ることにより必ず電気的導通を確保してください。取り付け金具と筐体またはラックとの接触面の塗料または非導電コートはすべて除去してください。設置する前に必ず表面の汚れを除去し、腐食防止剤を塗布してください。

また、ラックがアースされていない場合、お客様が準備したアース ケーブルを接続してシャーシをアースすることもできます。ケーブルをシャーシのアースパッドおよび設置場所のアースに接続します。

警告 **ステートメント 1024**：アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

警告 **ステートメント 1046**：装置の設置または交換

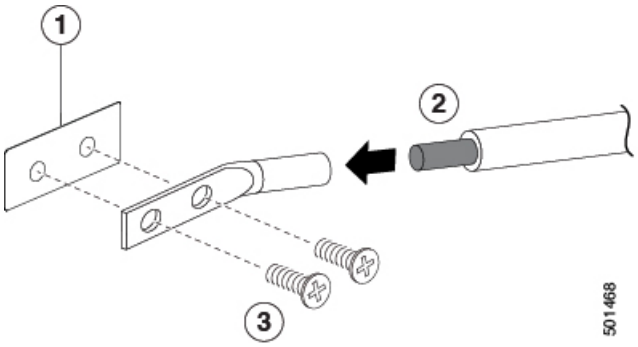
感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

始める前に

シャーシをアースする前に、データセンター ビルディングのアースに接続できるようになっている必要があります。

ステップ 1 ワイヤ ストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ（19 mm）ほど、被膜をはがします。米国で設置する場合は、6-AWG 線をお勧めします。

ステップ 2 アース線の被覆をはぎとった端をアース ラグの開口端に挿入します。圧着工具を使用し、次の図のようにアース線をアース ラグに圧着します。アース線をアース ラグから引っ張り、アース線がアース ラグにしっかりと接続されていることを確認します。



1	シャーシのアース パッド	3	2 本の M4 ネジを使用してアース ラグをシャーシに固定します
2	アース ケーブル。一方の端から 0.75 インチ（19 mm）絶縁体がはがされ、アース ラグに挿入され、所定の位置に圧着します		

ステップ 3 2 本の M4 ネジでシャーシのアース パッドにアース ラグを固定します（上図を参照）。11 ～ 15 インチポンド（1.24 ～ 1.69 Nm）のトルクでネジを締めます。

ステップ 4 アース線のもう一方の端を処理し、設置場所のアースに接続します。

スイッチの起動

スイッチを起動する前に、以下のことを確認する必要があります。

- そのスイッチには、スイッチに取り付けられているすべてのモジュールが必要とする電力を出力できるだけの電源があること。スイッチで使用する電源モードに応じて、次の点を考慮してください。
  - コンバインド パワー モード（電源冗長性なし）の場合、シャーシ内のすべてのモジュールに電力を供給するのに十分な電源が必要です。冗長性を確保するために追加の電源装置は必要ありません。
  - *n*+1 冗長モードの場合は、シャーシ内のすべてのモジュールに電力を供給するのに十分な電源が必要です。一方の電源モジュールがダウンした場合、または交換された場合に冗長性を提供するために、1 台の追加の電源が必要です。必要な最大電源数は、コンバインド パワー モードで使用する電源数に加えて、冗長性のためのもう 1 台です（*n*+1）。
  - *n*+*n*冗長モードの場合は、2つの同等の電源装置セットが必要です。それぞれが、シャーシ内のすべてのモジュールに電源を供給できること、そしてそれぞれのセットを別個の電源に接続することが必要です。1 台の電源モジュールがダウンした場合、他方の電源に接続された電源モジュールがスイッチに電力を供給できます。電源の最大数

は、コンバインド パワー モードで使用する電源数に加えて、冗長性のためのそれと同じ台数です（*n*+*n*）。

（注） DC電源モジュールには2つの給電があり、それぞれにプラス（+）線とマイナス（-）線があります。電源ケーブルをシンプルにルーティングするには、両方のフィードを同じ電源に接続します。それぞれの給電を別の電源に接続することもできますが、電源ケーブルの配線がより複雑になります。

（注） この機器は、隣接するデバイスが完全に起動して実行されているかどうかに応じて、30 分未満で起動するように設計されています。

- 2 つの電源を使用する場合は、電源ケーブルのルーティングを個別に管理するのが最も簡単です。シャーシの左側にある一方の電源に電源ケーブルをルーティングします。シャーシの右側にあるもう一方の電源に電源ケーブルをルーティングします。左側の電源ケーブルは、左端の電源スロットの電源装置に接続します。右側の電源ケーブルは、右端の電源スロットの電源装置に接続します。すべての電源モジュールスロットを取り付けない場合は、今のところ両端のみに取り付けて、その間は空けておきます。電源装置を追加するまで、設計された通気を維持するために、電源スロットブランクで、それぞれの空きスロットをカバーします。

スイッチの電源を 1 つまたは 2 つの電源に接続したら、スイッチをオンにします。

警告 **ステートメント 1004**：設置手順

設置手順を読んでから、システムを使用、取り付け、または電源に接続してください。

警告 **ステートメント 1018**：電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

AC 電源への 3 kW AC 電源モジュールの接続

ステップ 1 3 kW AC 電源モジュールのそれぞれで、AC 電源および電源モジュールの電源レセプタクルに AC 電源ケーブルを接続します。

ステップ 2 出力電力 LED が点灯し、グリーンになることを確認します。

次のタスク

電源モジュールが稼働して、スイッチに完全に電源が投入されたら、スイッチをネットワークに接続できます。

AC 電源への 3 kW ユニバーサル AC/DC 電源モジュールの接続

3 kW ユニバーサル AC/DC 電源モジュールを使用すると、Saf-D-Grid レセプタクルを備えた 200 - 277 V AC 回路のどちらにも接続できます。これは、AC 電源に電源モジュールを接続するための手順です。

始める前に

電源モジュールの電源スイッチをオフにする必要があります（電源スイッチを 0 に設定）。

ステップ 1 電源モジュールの電源スイッチがオフ（0）になっていることを確認します。

ステップ 2 AC 電源の Saf-D-Grid レセプタクルに AC 電源ケーブルの Saf-D-Grid コネクタを接続します。

ステップ 3 電源モジュールの Saf-D-Grid レセプタクルに、電源ケーブルのもう一方の端にある Saf-D-Grid コネクタを接続します。

ステップ 4 電源スイッチを押してオン（1）にし、電源モジュールの電源をオンにします。

ステップ 5 出力電力 LED が点灯し、グリーンになることを確認します。

次のタスク

電源装置を電源へ接続し終えて、電源が動作している場合は、スイッチをネットワークに接続します。

DC 電源への 3 kW ユニバーサル AC/DC 電源モジュールの接続

3 kW ユニバーサル AC/DC 電源モジュールを使用すると、プラス、マイナス、およびアース端子を備えた 240 - 380 V DC 回路のどちらにも接続できます。これは、DC 電源に電源モジュールを接続するための手順です。

始める前に

- DC 電源の回路ブレーカーをオフにする必要があります。
- 電源モジュールの電源スイッチをオフにする必要があります（電源スイッチを0に設定）。

ステップ 1 DC 電源の回路ブレーカーがオフになっていることを確認します。

ステップ 2 電源モジュールの電源スイッチがオフ（0）になっていることを確認します。

ステップ 3 電源ケーブルのアース端子リングを DC 電源のアース端子に接続します。適切なトルク設定でナットを締め、端子支柱にしっかりと固定します。

ステップ 4 電源ケーブルのマイナス端子リングを DC 電源のマイナス（-）端子に接続します。適切なトルク設定でナットを締め、端子支柱にしっかりと固定します。

ステップ 5 電源ケーブルのプラス端子リングをDC電源のプラス（+）端子に接続します。適切なトルク設定でナットを締め、端子支柱にしっかりと固定します。

ステップ 6 電源モジュールの Saf-D-Grid レセプタクルに、電源ケーブルのもう一方の端にある Saf-D-Grid コネクタを接続します。

ステップ 7 DC 電源回路の回路ブレーカーをオンにします。

ステップ 8 電源スイッチを押してオン（1）にし、電源モジュールの電源をオンにします。

ステップ 9 出力電力 LED が点灯し、グリーンになることを確認します。

次のタスク

電源装置を電源へ接続し終えて、電源が動作している場合は、スイッチをネットワークに接続します。

DC 電源への 3 kW DC 電源モジュールの接続

電源の長化を使用しないか、*n*+1 の電源冗長化を使用する場合、スイッチの電源を同じ電源グリッドに接続します。*n*+*n* の電源冗長化を使用する場合、1 つ目のグリッドに電源装置の半分を接続し、2 つ目めのグリッドには残りの半分の電源装置を接続します。グリッド A の電源装置はスイッチの左側にあり、グリッド B の電源装置はスイッチの右側にあります)。

始める前に

- シャーシに電源モジュールが取り付け済みである必要があります。
- 電源モジュールは、お客様によって提供された電源コードを使用して DC 電源に接続するために十分に近い場所に配置する必要があります。
- 4 つの 6-AWG ラグがスイッチに付属します。
- お客様によって提供される機器およびツールには、次のものが含まれている必要があります。
  - 4 本の電源ケーブル（6-AWG ケーブルを推奨）

（注） 色付きのケーブルを使用して、プラスとマイナスの極性を指定します。プラス極性の色が付いた2本のケーブルと、マイナス極性の色が付いた2本のケーブルが必要です

- ワイヤ ストリッパ
- 圧着工具
- ドライバとレンチ

ステップ 1 次のようにして、スイッチと回路ブレーカをオフにします。

a) 電源モジュールの電源スイッチをスタンバイ（電源モジュールの 0 の位置）に切り替えます。

b) DC 電源からの 2 つの入力それぞれについて、回路ブレーカをオフにします。

警告 **ステートメント 1003**：DC 電源の切断

次の手順を実行する前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認してください。

ステップ 2 お客様から提供された電源ケーブルを、次のように電源モジュールと電源に差し込みます。

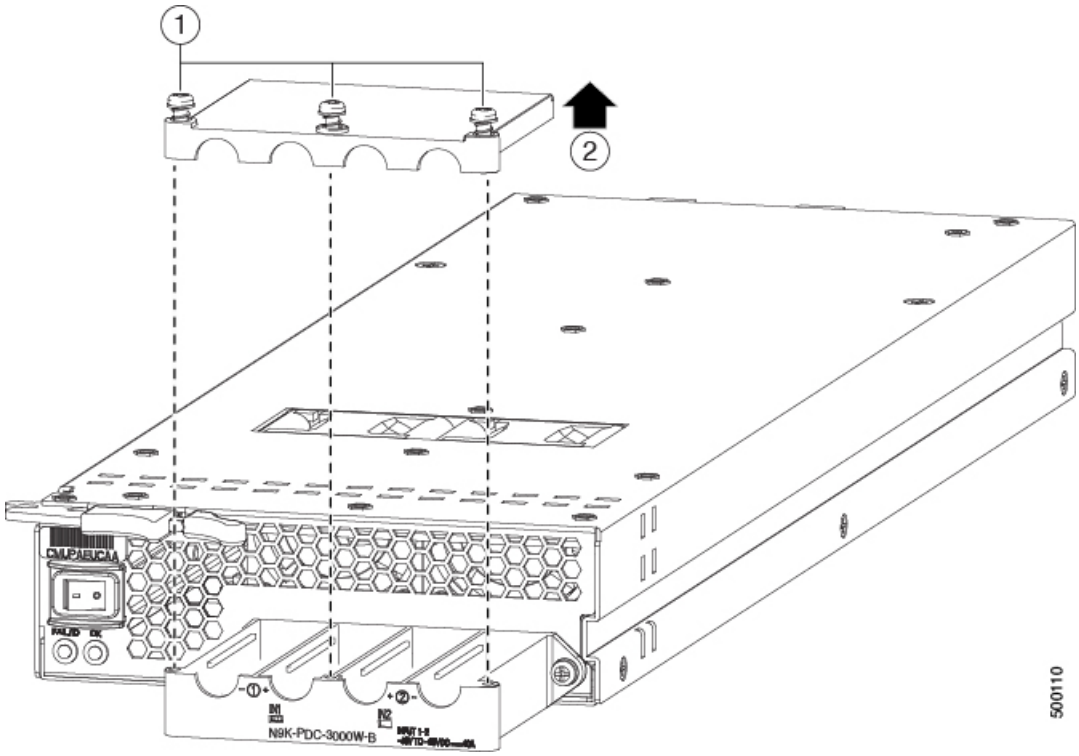
a) ワイヤストリッパを使用して、4 本の電源ケーブルの端の絶縁体をそれぞれ 0.75 インチ（19 cm）はがします。

色付きのケーブルを使用して、プラスとマイナスの極性を指定します。プラス極性の色が付いた2本のケーブルと、マイナス極性の色が付いた2本のケーブルが必要です

b) 圧着工具を使用して、4つのラグ（各電源モジュール用にスイッチに付属）をそれぞれ、端をはがした各ケーブルの端に取り付けます。

ケーブルを引っ張って、圧着したラグをそれぞれテストします。

c) 端子ボックスのカバーの 3 本のネジを、ドライバを使用して取り外します。カバーは電源装置の前面にあります。次の図のようにしてカバーを取り外します。



1	保護カバーから 3 本のネジを取り外します。	2	カバーを取り外します。

（注） 端子ボックスには、4 つの電源端子に対応する 4 つのスロットがあります（マイナス [-]、プラス [+]、プラス [+]、マイナス [-] の順に並んでいます）。各端子には 2 つのナットがあり、これらを使用して電源ケーブルを端子に固定します。

d) 端子ボックスの各スロットの各端子ポストから 2 つのナットを取り外します。
e) 2 本のプラス ケーブルの各ラグを、中央の 2 本の端子支柱に配置し、2 つのナットを使用して各ラグを固定します。それから 40 インチポンド (4.5 N · m) のトルクで締めます。
f) 2 本のマイナス ケーブル用の各ラグを、端側の 2 本の端子支柱に配置し、2 つのナットを使用して各ラグを固定します。それから 40 インチポンド (4.5 N · m) のトルクで締めます。
g) 保護カバーを端子ボックスに戻し、3 本のネジで所定の位置に固定します。
h) 電源ケーブルのもう一方の端を、2 つの DC 電源回路に接続します。

電源装置の一方の側に接続されているプラス ケーブルとマイナス ケーブルが、同じ DC 電源回路に接続されていることを確認します。各マイナス ケーブルがマイナス端子に接続され、各プラス ケーブルがプラス端子に接続されていることを確認します。

ステップ 3 次のように電源モジュールの電源を入れます。

a) 両方の入力ラインの電源の回路ブレーカをオンにします。

入力 1（IN1）および入力 2（IN2）の LED が電源モジュールで点灯していることを確認します。

b) 電源モジュールの電源スイッチをオン（電源モジュールの 1 の位置）に切り替えます。

LED が点滅し、Input LED のほかに、OK LED もオン（緑色）になります。

次のタスク

これでスイッチをネットワークに接続できます。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。